

人権啓発ビデオ

タイトル	時間(分)	メディア	対象	内容	制作年	担当
ねずみくんのきもち／アニメ	12	ビデオ	小・中	いじめやコンプレックス、自然とのつながりなどの大切なテーマをみずみくんと一緒に学べる楽しいアニメーションです。一人ひとりが大切な存在であるということに気づき、共に生きていることを感じられることを願って制作しました。	2008	社会教育課
みんな いちばん！	13	DVD	幼・小	小さな森の小さな仲間たちのお話。元気いっぱいのだんぐり君はだれよりも一番高くジャンプします。松ぼっくり君は剣道一番。枯葉をバサリと切ります。たけのこ君は大きな石を持ち上げ力持ちで一番。だけどきのこちゃんだ「けは、どれもうまくできません。自分はいいいところがないと落ち込むきのこちゃんだが、仲間たちはわかっていた。きのこちゃんは優しさが一番であると。	2006	社会教育課
小学生のための人権 パート1 ～思いこみに気づく～	14	DVD	小	【テーマ1:思いこみてなんだろう？】 今、日本にはホームレスの状態になっている人が数多くいます。ホームレスの人や支援する人々の言葉から、私たちが普段いただいている「ホームレス」の人についての思いこみを考えてみます。 【テーマ2:ちがいを受け入れる】 身体に障害のある、スクールカウンセラーの女性。彼女の暮らしの様子を通して、ちがいを受け入れることの大切さを学びます。また、男だから、女だから、外国人だからといった「思いこみ」だけで人を判断していることがないかを問いかけます。	2011	社会教育課
小学生のための人権 パート2 ～大切なわたし 大切なあなた～	15	DVD	小	【テーマ1:きずつくこと きずつけること】 虐待をテーマに、人に大切にされることが人を大切にする心につながることを学びます。また、子どもの虐待防止センターでは、身近な人に相談することの大切さを伝えます。 【テーマ2:大切な自分 大切なみんな】 小学生から大人まで、色々な人にインタビューします。…色々な人の言葉を聞くことで、自分を大切にし相手も大切にすることはどういうことかを、子どもたち自身に考えさせるものです。	2011	社会教育課

人権啓発ビデオ

タイトル	時間(分)	メディア	対象	内容	制作年	担当
いじめケーススタディ ～みんなで考えよう～	16	DVD	中	いじめのケースによって、対処法には違いがあります。本作品は、それぞれのケースに合わせて、どのような対応をすれば、いじめ被害を解決できるか、保護者や教師にどのように相談していけばいいかを、再現ドラマを交え、教育評論家尾木直樹先生がわかりやすく解説したものです。子どもたちが話し合いの中で、人権を尊重する心を育てられるように制作されています。	2010	社会教育課
名前・・・それは燃えるいのち	18	ビデオ	小・中・高・一般	4年3組の新しい担任になったのは、姜明子(カン ヨンジヤ)先生でした。名前のことでケンカになったよりかと平吉に、姜先生は宿題を出します。「自分の名前のことを調べて、みんなの前で発表してください」翌日、みんなの前で発表する二人の顔は輝いていました。そして姜先生にも、自分の名前への深い思いがありました。民族名を隠し、「あきこ」と名乗っていた中学生の頃……。	2006	社会教育課
LGBTを知ろう	20	DVD	成人	LGBTを含むセクシュアル・マイノリティの人たちは、3～10%存在するといわれています。2017年1月には、男女雇用機会均等法のセクハラ指針が改正され、LGBTの人たちへのセクハラ防止が事業主の義務となります。LGBTをめぐる社会の動きは今、大きく変わりつつあります。まず私たちが多様な性のあり方を正しく理解し、認め合っていく社会にすることが大切です。	2016	社会教育課
心のキャッチボール／アニメ	23	ビデオ	小・中・高・一般	若井千夏は、中学校の野球部員。部員が二人だけとなり、廃部の危機をむかえてしまう。大好きな野球を続けたい千夏は、小学生の時剛速球選手だったが問題を起こして以来野球に背を向けてしまっている文也を誘う。家庭や学校をはじめとする社会とのつながりの中で、「現実」や「夢」とどのように向き合っていけばよいのかに戸惑う中学生の姿が、部活動の場を舞台として描かれている作品。	2005	社会教育課
障害のある人とのふれあいと人権 ～今まで声をかけられなかったあなたへ～	23	ビデオ	小・中・高・一般	安心して暮らせる社会を築いていくためには、健常者と障がい者が助け合うことが重要です。街で障がい者に出会ったとき、どのように行動したらよいのか、実際の場面を見ながら考えていきます。障がい者自身の言葉で、どう関わってほしいか、また障がい別のサポートの仕方も紹介。	2008	社会教育課

人権啓発ビデオ

タイトル	時間(分)	メディア	対象	内容	制作年	担当
日常の人権 I 女性の人権・子どもの人権・高齢者の人権	23	ビデオ	一般	日常生活の中に潜む様々な人権問題を取り上げています。ドラマで人々の心にある偏見を、そしてドキュメンタリーで差別や偏見などで苦しむ人々の心の痛みを伝えます。人権について、様々な角度から考えることができる作品です。	2009	社会教育課
日常の人権 II 外国人の人権・障がい者の人権・部落差別・インターネットでの人権侵害	23	ビデオ	一般	日常生活の中に潜む様々な人権問題を取り上げています。ドラマで人々の心にある偏見を、そしてドキュメンタリーで差別や偏見などで苦しむ人々の心の痛みを伝えます。人権について、様々な角度から考えることができる作品です。	2009	社会教育課
自他尊重のコミュニケーションと職場の人権 1 ～ ハラスメントの視点から ～	23	DVD	一般	働きやすい職場環境をつくるには、社員それぞれが互いの立場を理解し尊重しあい、適切にコミュニケーションをとっていくことが大切です。職場の身近なコミュニケーション不全がハラスメントの問題につながっていくことをドラマ形式でわかりやすく伝え、どうすれば健全な職場環境を育てることができるかを皆で考えていきます。	2013	社会教育課
自他尊重のコミュニケーションと職場の人権 2 ～ 相手の立場で考える ～	23	DVD	一般	職場で体験しがちな身近なエピソードを切り取り、それぞれの異なる立場の登場人物にスポットをあて、お互いを尊重するコミュニケーションの大切さを考えていきます。お互い悪意はないのにコミュニケーションの不全から職場環境が悪化する状況になります。自分も相手も大切にすることをコミュニケーションとはどんなものなのかを考えてみましょう。	2013	社会教育課
私の中の差別意識 ～ 部落差別問題から考える～	24	DVD	一般	部落差別問題を通し、人の中に巣食う差別意識への気づきを促していきます。ドキュメンタリーを通し、差別された人々の心の痛みを伝えつつ、どうすれば差別がなくなるかを考えるきっかけを提供します。そして、自らの差別意識に気づき、正しい知識や判断力を持つことの大切さを伝えます。	2011	社会教育課

人権啓発ビデオ

タイトル	時間(分)	メディア	対象	内容	制作年	担当
無関心ではいけない！ 障害者の人権 (障害者差別解消法を考える)	24	DVD	一般	「差別解消法」への理解を深めてもらうための教材。人は誰でも老化によって足腰が弱ってきたり、視力や聴覚が衰えてきます。いつかは障害者と同じような不自由を感じる可能性があります。障害者に対して無関心ではいられない時代になってきているのです。この作品では具体的に、視覚障害者、聴覚障害者、車椅子の方の日常を通して、障がいを理由にした直接差別、障がいを理由としない間接差別、合理的配慮を怠った場合の差別について考えていくものです。	2013	社会教育課
家庭の中の人権 ～生まれ来る子へ～	25	DVD	一般	人は皆、幸せになるために生きています。その一方で、誰かを傷つけ、排除し、幸せになる権利を侵害しています。このドラマでは、「家庭の中の人権」に目を向け、祖父母と孫夫婦の会話を通じて、私たちの身の回りにある人権問題をクローズアップしました。家庭の中で、人権の尊さについて語りあい、伝えていくことは、すべての「いのち」を大切にすることでもあります。気づくこと、そして、行動することの大切さを描きます。	2013	社会教育課
ココロ屋	25	DVD	小	「ココロ」とは何でしょう？ 私たちにとって永遠の謎であり、自分の「ココロ」を問い続けることが、私たち人生のテーマの一つでもあります。「ココロ屋」は、この謎に向かい合うためのヒントとなる優れた児童文学を原作にしたアニメーションです。	2014	社会教育課
ありったけの勇気	27	ビデオ	小・中・高・一般	子どもたちは「いじめは良くない・悪いことだ」と心の中では思っている。「自分がいじめられるのでは？」という不安から、いじめる側にまわったり、見て見ないふりをしてしまうのではないのでしょうか。このドラマは、友だちとの関わりや相手の気持ちを考えることの大切さ、いじめをなくすためにお互いを認め合い、本音で話せる関係づくりなど、いじめに立ち向かう勇気の大切さを伝えます。	2007	社会教育課
どうしてそんなこと聞くの ～公正な採用選考のために～	27	DVD	一般	公正な基準に則ったエントリーシートを活用することは、採用選考の新たな可能性につながる半面、それにまつわる問題事例も発生しています。予断や偏見を取り払い、適性と能力のみを判断基準とする公正な採用選考をすることが大切です。この作品では、エントリーシートのあり方を考えることをきっかけに、採用選考担当者にとって必要十分な、公正採用選考のための情報を紹介していきます。	2010	社会教育課

人権啓発ビデオ

タイトル	時間(分)	メディア	対象	内容	制作年	担当
武州鼻緒騒動(DVD) ～差別に立ち向かった人々～	27	DVD	一般	天保14年(1843年)江戸の身分制度のなかで起こった武州鼻緒騒動。鼻緒の売買をめぐる些細なケンカがやがて幕府を巻き込む大騒動へと発展していった。幕府は何を恐れ、長吏たちは何故命をかけてまで闘ったのか。差別への憤りに立ち上がったその精神は後の部落解放運動に脈々と受け継がれてきた。	2012	社会教育課
光射す空へ	32+14	DVD	中・高・一般	同和対策審議会答申が出されて50年。その間、国や地方自治等で様々な取り組みが行われ、同和地区の生活環境は大きく改善しました。しかし、同和地区・被差別部落と呼ばれる地区の出身者や住民に対する差別は形を変えて根強く残っています。また、まだ十分に認識されたいない人権課題として、性同一性障害や性的指向における少数派の人々、若年性認知症と診断された人々に対する誤解や偏見もあります。	2015	社会教育課
悩まずアタック！ 脱・いじめのスパイラル	33	DVD	中・一般	この作品は、いじめの防止対策推進法が成立したことを機に、法務省が主催する全国中学生人権作文コンテストの中で、法務大臣政務官賞を受賞した「いじめスパイラル」をドラマで映像化したものです。	2014	社会教育課
ヒーロー	34	DVD	一般	近年、社会から孤立している人が増えてきており、孤独死などが大きな社会問題となっています。家族や地域、職場のつながり、いわゆる血縁や地縁、社縁の希薄化による問題です。こうした「無縁社会」と呼ばれる社会状況に対し、私たちに何ができるのでしょうか？この作品の主人公は、働き盛りのサラリーマンです。地域社会と縁を持たなかった主人公が、あるきっかけから地域と関わるようになり、今まで意識しなかった近所の高齢者や家族と出会っていきます。そうした体験の中で、自分の家族との絆も深めていきます。「無縁社会」の中で、地域で起こる身近な人権問題に対し、傍観者としてではなく、主体的に行動することで、新たな地域のつながりを結んでいく大切さを実感してもらうために、このドラマを制作しました。	2013	社会教育課

人権啓発ビデオ

タイトル	時間(分)	メディア	対象	内容	制作年	担当
imagination	34	DVD	中・高・一般	舞台は小さなラジオ局、様々な人が番組を聞きながら心を通わせ明日へとつながる一歩を見つけしていきます。 何気ない日常の中で、ほかの人の「心」を想像することをおろそかにしていませんか。まず「想像」すること、相手のことを知ること、想うこと。そこから人と人がつながる。互いが人権を尊重し合って生きていくために一歩ふみだして行動する。あなたはイマジネーションできていますか。 収録テーマ、子供の人権(いじめ問題)、同和問題、障がい者の人権(発達障がい)	2014	社会教育課
風の匂い	34	DVD	中・高・一般	本作は、スーパーマーケットで働く青年、歩と正人が主人公です。歩には知的障害がありますが、子どもの頃は共に遊び、共に学ぶ「大切な友達」でした。しかし、大人になった二人を隔てる健常者と障害者という壁。その壁を作っているのは誰なのか。二人の成長と職場での人間模様を通じて、社会的な課題でもある「合理的配慮」についても触れ、見る方々が自分自身の問題として考えるきっかけとなるドラマ教材です。	2016	社会教育課
壁のないまち	35	ビデオ	小・中・高・一般	交通事故のため車いすによる生活となった主人公が、日常生活を不自由に感じながら、やがて自身の「こころの壁」を乗り越えていく。障がい者をテーマに、バリアフリー社会の実現を問いかけるドラマ。	2005	社会教育課
紡ぎだす未来	35	ビデオ	一般	住宅販売会社で働く佐藤晃は、ある日、父親から祖父母が部落出身だったことを告げられ、晃は初めていつ、どこで、誰に差別されるかもしれないという不安を感じる。しかし、自分を否定するのではなく、偏見や差別と向き合い共に生きる社会を紡ぎだせれば…と考え自ら一歩を踏み出す。	2007	社会教育課
こころに咲く花	35	ビデオ	一般	矢野加奈子は洋菓子会社で働く派遣社員。夫の純一はサラリーマンで、12歳の息子、健斗がいる。加奈子は、上司の田村真紀子課長が部下の小久保麻衣に厳しすぎるのを、「いじめ」であると感じていた。一方、健斗は同級生の加藤琢磨からいじめを受けているが、加奈子はそのことに気づいていなかった…。	2007	社会教育課

人権啓発ビデオ

タイトル	時間(分)	メディア	対象	内容	制作年	担当
今日もよか天気たい	35	ビデオ	一般	視覚障がいのある一人の女性「京子」を通して、周りの人が「人権」の大切さに気づいていくストーリー展開になっています。ある日、京子とたまたま同じバスに乗り合わせた乗客は、京子の存在や京子のとる行動によって、自分の心の中にある偏見や差別に気づいていきます。さらに、多くの人から支えられてきた京子自身もまた人の役に立つことで生きがいを見つけていきます。	2007	社会教育課
ひとみ輝くとき	35	ビデオ	小・中・高・一般	子どもの世界で起こっているいじめや虐待の問題を大人が自分のこととして考え、子どもを家庭・学校・地域社会が協力しあって支えていく社会の形成ができることを願い制作されています。また、子どもたちが「いじめの構造」を知ったとき、自分は何の位置にいるのかを判断し、皆で考え話し合いのできる作品です。	2008	社会教育課
クリームパン	36	DVD	一般	子どもへの虐待や若者の自殺など社会問題になっている事件を通して、社会や地域の中で孤立している人々に対する正しい理解を訴えるとともに、このドラマを見た方に、今一度、「いのち」について自分の問題として考えていただけるような作品です。	2010	社会教育課
ほんとの空	36	DVD	一般	人権課題に共通する根っこの部分は、私たちの誤った考え方や思い込み、偏見という「意識」です。誰もが他者の排除や差別がよくないことは理解しています。その一方で、私たちは自分や身近な人に関わる出来事には敏感に反応するけれど、それ以外のことは他人事のように感じたりします。誤解や偏見に気づき人と深く向き合うこと、他者の気持ちを我がこととして思うこと。すべての人権課題を自分に関わることとして捉え、日常の行動につなげてもらうために、このドラマは制作されました。	2012	社会教育課
あなたに伝えたいこと	36	DVD	一般	「インターネット時代における同和問題」がテーマです。主人公は、ごく普通の若い女性で、物語の中で自分の祖母や母が同和問題でつらい思いをしてきたことを知ります。	2014	社会教育課

人権啓発ビデオ

タイトル	時間(分)	メディア	対象	内容	制作年	担当
あの空の向こうに	38	ビデオ	中・高・一般	ケータイやインターネットによる人権侵害は、いつ、誰の身に起きても不思議ではない深刻な問題です。誰もが被害者に、そして加害者にもなり得るのです。本当の意味での心のつながりとはどういうことかを改めて見つめ直し、お互いに「思い」を交わし、心の寄り添うようなコミュニケーションを図ることの大切さと家族の果たす役割にも気付かせます。	2009	社会教育課
人権感覚のアンテナって？	39	ビデオ	一般	このビデオには、偏見、差別、人権侵害に対するさまざまな意識や行動が描かれています。ドラマをもとに話し合い、日常の意識や行動を見直すことで、自らの人権感覚のアンテナに気づいて欲しいと願っています。それが、人権が尊重される社会づくりのための第一歩になるのだと思います。	2006	社会教育課
旅立ちの日に／アニメ	40	ビデオ	中・高・一般	この映画は、あるウェディングコーディネーターが、手作りの結婚式の企画に携わる過程で、登場するそれぞれの人の力で家族の問題や世間体の問題などを解決し、自分の心にある見えない障壁を壊し、「心のバリアフリー」を形成していく様子を描いています。	2005	社会教育課
夢のつづき／アニメ	40	ビデオ	小・中・高・一般	家族の中で疎外感を抱く高齢者、認知症を患う高齢者、その介護に疲れ果てた高齢者や無気力な毎日を送る若者らが、世代の異なる者とのふれあいや、高齢者を支援するサービスの活用などで、家族のきずなを深め、生きがいを感じられる生活を送ることができるようになっていく様子を描いています。	2008	社会教育課
声を聞かせて／アニメ	40	ビデオ	中・高・一般	携帯電話は、もはや単なる”電話機”ではありません。メールやインターネットなど、様々な機能をもつようになり、大人を含めて、「ケータイがないと不安」なケータイ依存までもつくりだしています。このケータイを子どもが持つということは、どういう環境に子どもたちを置くことを意味するのか。私たちはこの現実に向き合っていけばいいのか、一緒に考えてみませんか。この映画では、インターネット上の差別的な書き込みなど、今なお差別意識が残る「同和問題」についても取り上げています。	2009	社会教育課



人権啓発ビデオ

タイトル	時間(分)	メディア	対象	内容	制作年	担当
この空の下で	42	ビデオ	中・高・一般	この映画は、ある夫婦が、町内会長の役を引き受けることによって、今まで気づかないで過ごしていた地域の人々の中にある心の壁、ひいては自分の心の壁に気づき、手探りでその心の壁を壊すために自分たちは何が出来るだろうかと考えて、行動に移していく姿を描いています。	2006	社会教育課
ボクとガク／アニメ	42	DVD	小・中・高・一般	希望(のぞむ)と岳(がく)という二人の子どもと近所に住むおばあさんとの交流を描きながら、そうした子どもの人権と、地域ではぐくむ人権文化というものに目を向けています。また、私たちが決して忘れてはならないもの、次代に受け継ぐものとして「戦争と平和」についても描いています。	2010	社会教育課
防ごう 子どもの虐待 (日常の子育てから考える)	47	DVD	一般	子どもの虐待が深刻な社会問題となっています。虐待というと、子どもを殺しかねないような激しい暴力を思い浮かべがちですが、必ずしもそういう行為ばかりを指すものではありません。私たちの日常の中で、不適切な子育てを繰り返せば虐待になりうるのです。虐待の芽は日常生活の中に潜んでおり、誰もが虐待の当事者になる可能性があるともいえます。そのような観点から本作品では、日常の子育ての中で起こしがちな問題点を示し、虐待を防ぐために私たちができることを描きます。	1994	社会教育課
メッセージ“私たちと人権”第1巻	60	DVD	一般	私たちの社会は、様々な偏見や差別が絡み合い、人権が脅かされています。当事者たちの声に耳を傾け、差別のない、お互いが尊重される社会の実現に向けて“私たちと人権”について一緒に考えましょう。	2011	社会教育課
メッセージ“私たちと人権”第2巻	60	DVD	一般	私たちの社会は、様々な偏見や差別が絡み合い、人権が脅かされています。当事者たちの声に耳を傾け、差別のない、お互いが尊重される社会の実現に向けて“私たちと人権”について一緒に考えましょう。	2011	社会教育課
むしむし村の仲間たち みんないい ところあるんだよ／アニメ	13	DVD	幼・小	外見や能力が異なるむしむし村の昆虫キャラクター達。それぞれの違いが原因で相手を傷つけてしまうことも。そんな中、大切なのはお互いの違いを認め、相手の気持ちを思いやること、そして助け合うことを楽しく学びます。	2017	社会教育課

人権啓発ビデオ

タイトル	時間(分)	メディア	対象	内容	制作年	担当
あした咲く	36	DVD	一般	「女性の人権」ーともに輝ける社会を目指してー 平成27年に女性活躍推進法が成立。独身会社員の妹と、専業主婦の姉が、それぞれの悩み、葛藤を抱えながら、地域の人々とのふれあいを通じて別の視点や価値観に気づきます。幸せの形は十人十色。自分で自分の生き方を選択し、すべての人がイキイキと生活できる多様性を尊重できる社会の実現を目指して、その実現をめざすきっかけとなるドラマです。	2017	社会教育課
君が、いるから	33	DVD	一般	「子ども・若者の人権」ー幸せにつながる社会をめざしてー 母親からの心理的虐待に悩む若者が生き方を制限され、自分が愛されていると感じることができず自己肯定感の低い若者が主人公です。「ほんの小さな冒険」をきっかけに少しずつ変わっていき、そこで出会う人々とのふれあいを通して新たな価値観に気づいていきます。子どもや若者が社会的に成長し自立していくために、人と人が関わり支えあいながら希望の種をまいていく、そんな社会の実現をめざす人権啓発ドラマです。	2018	社会教育課
Voice!!!人権の教室	38	DVD	一般	ようこそ「人権の教室」へ。 舞台は、休日の学校で開かれる「人権の教室」。招待状で招かれた3人の中学生・高校生が「声」を手がかりに、3つの人権のテーマについて学んでいきます。1時間目「オリンピック・パラリンピックと人権ー声援ー2020年に向けて」。2時間目「北朝鮮による拉致問題ー発信ー」。3時間目「子供の人権(いじめ問題)ー歌声ー」。	2017	社会教育課
忍たま乱太郎のがんばるしかないさシリーズ	30	DVD	幼・小	「忍たま乱太郎」のがんばるしかないさシリーズ全3巻がひとつに 第1巻「よいと思うことをおこなう」困っている人を助けたり、行列でのマナー、ゴミ捨てのルールを体験しながら学んでいきます。 第2巻「あたたかい心でしんせつにする」老女や少年と出会い、あたたかい心遣いや、親切を学んでいきます。 第3巻「きまりを守って協力しあう」食事当番となった日、とんだ失敗をしますが、仲間たちの温かい協力でおいしいカレーが完成します。	2018	社会教育課

人権啓発ビデオ

タイトル	時間(分)	メディア	対象	内容	制作年	担当
サラーマット～あなたの言葉で～	36	DVD	一般	「SNS時代における外国人の人権」 訪日外国人の増加や、改正出入国管理法の施行など、外国の人々と接する機会が増え、職場や地域で共に生きる時代になっています。一方で、文化、言語、習慣などの「違い」や偏見から、外国人が増えることに抵抗を感じている人も少なくありません。また、スマートフォンの普及によって、SNS内でのいじめなどが深刻化し社会問題になっています。多文化共存社会の実現を目指すドラマです。	2019	社会教育課
「部落の心を伝えたい」 シリーズ第32巻ネット差別を許すな！～川口泰司～	28	DVD	一般	第6巻「差別っていったいなんやねん」から15年を経て、再び登場する川口泰司(41)。今、ネット空間を主戦場に部落差別が展開。差別情報の拡散、「部落地名総鑑」公開など、「ネットを悪用した部落差別」の現実を解説。何が問題で、どう解決するのか、道筋を示す。	2019	社会教育課
LGBTsの子どもの命を守る学校の取組 ①危機管理としての授業の必要性	38	DVD	一般	学校でLGBTsの取組の必要性を喚起するとともに、当事者である児童生徒が傷つかないような教員の実践や学校のあり方を提案する。 これから、LGBTsについて取り組もうと考えている小・中学校、高等学校の教員の方々、教員を目指す学生向け。	2019	社会教育課
LGBTsの子どもの命を守る学校の取組 ②当事者に寄り添うために ～教育現場での落とし穴～	38	DVD	一般	学校でLGBTsの取組の必要性を喚起するとともに、当事者である児童生徒が傷つかないような教員の実践や学校のあり方を提案する。 これから、LGBTsについて取り組もうと考えている小・中学校、高等学校の教員の方々、教員を目指す学生向け。	2019	社会教育課

人権啓発ビデオ

タイトル	時間(分)	メディア	対象	内容	制作年	担当
家庭からふりかえる人権 話せてよかった	27	DVD	一般	日常の中の思い込みによって生じる問題を描き、相互理解のためのコミュニケーションによって、その問題と向き合うことを提案する。 家庭の人間関係は、わたしたちの人権意識を育む基盤です。そこからふりかえることで、組織や社会における意識も見つめ直すことが出来るのではないのでしょうか。自分の中にある思い込みに気付き、自分も相手も尊重する人間関係を築く。	2020	社会教育課
今そこにいる人と、しっかり出会う ー同和問題ー	24	DVD	一般	いま、現代社会でもさまざまな差別の問題が起こっています。本作では、同和問題について理解を深めていただくと同時に、同和問題をモチーフに、人と人がしっかり出会い、差別とどう向き合っていくかについてのヒントになる作品。	2020	社会教育課
「違い」を「力」にするために ー職場のコミュニケーションのヒントー	26	DVD	一般	職場では、グローバル化が進展し少子高齢化が進んだことで、より多様な人材が活躍する時代になっています。 お互いの「違い」を理解するという段階から、「違い」をプラスにして、積極的に新しい価値に転換する時代になっています。 「違い」を「力」にしていくために、どんなコミュニケーションのあり方で実現していけるのか、事例をとりあげながら考える。	2020	社会教育課
スマホは情報モラルが大切 1巻 ～ネットいじめをしない！SNSでの出会いに気を付けよう！～	25	DVD	中学校 道徳	本作品では「ネットいじめ」「SNSでの出会い」の2つのテーマを取り上げ、それぞれドラマ編と解説編で構成。視聴した生徒が、ドラマの中の出来事を自分だったらどうするかと考え、情報モラルが育成されることを狙いとします。	2021	社会教育課

人権啓発ビデオ

タイトル	時間(分)	メディア	対象	内容	制作年	担当
スマホは情報モラルが大切 2巻 ～もう一度よく考えよう！写真や動画の投稿～	18	DVD	中学校 道徳	本作品では「個人情報流失」「炎上」の2つのテーマを取り上げ、それぞれドラマ編と解説編で構成。視聴した生徒が、ドラマの中の出来事を自分だったらどうするかと考え、情報モラルが育成されることを狙いとします。	2021	社会教育課
夕焼け	35	DVD	一般	本作品のテーマは「ケアラー～だれもが人権尊重される社会を～」です。主人公の瑠衣は、幼い弟の世話や家事に追われる生活にしんどさを感じつつも、「家族のことは家族であるのが当たり前」という思い込みから、気持ちを押し殺して生活しているヤングケアラーです。しかし、元ケアラーの灯との交流によって、自分の状況や本当の気持ちについて見つめ直し、将来に向き合うための一歩を踏み出します。	2022	社会教育課
性の多様性とLGBTQ+ ～誰もが自分らしく生きるために～	28	DVD	一般	本作品は「性のあり方」についての基礎知識を分かりやすく解説しながら、典型的でないといわれる性のあり方の人たちへのインタビューを通して、性には様々な形があることや、性的マイノリティーを取り巻く実状についても伝え、多様性を尊重した誰もが過ごしやすい社会について考えます。	2022	社会教育課